



令和7年8月豪雨災害

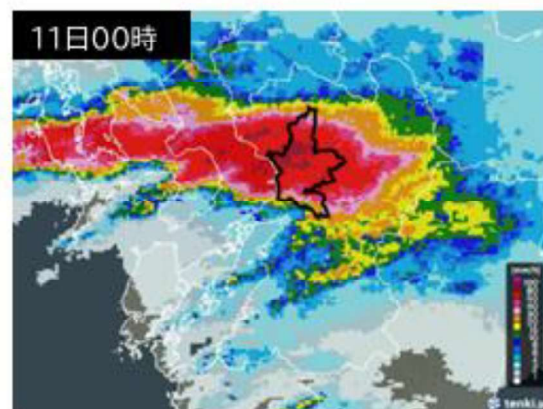
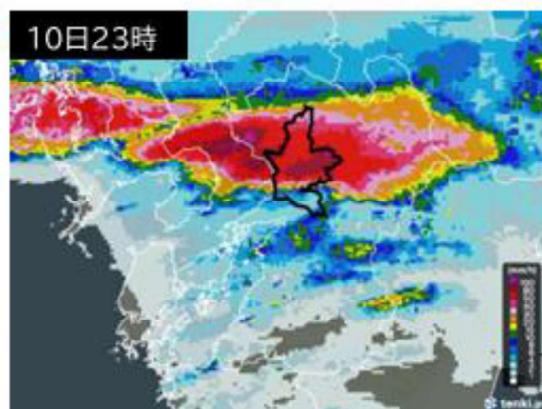
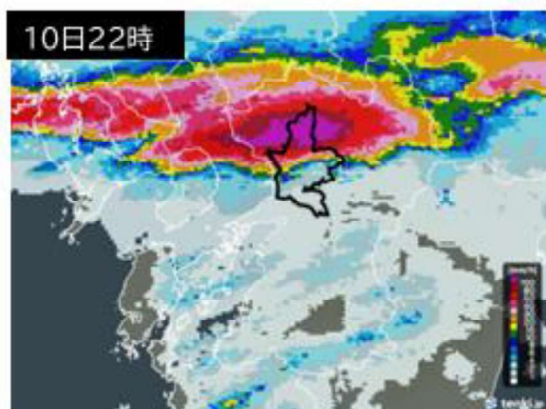
豪雨の概要と市発表資料
城西・花園・池田・池上校区での対応状況

2025年8月

1. 概要

1. 大雨の概要

令和7年8月10日夜から、これまでに経験したことのないような記録的な大雨となった。11日夕方にかけて、洪水警報や土砂災害警戒情報等が発表され、深刻な影響を及ぼし、また、同じく11日昼過ぎにかけて線状降水帯が発生し、市内では複数の人的被害に加え、多数の床上浸水・床下浸水、道路冠水や土砂災害などが発生した。



雨雲レーダー

出典：tenki.jp

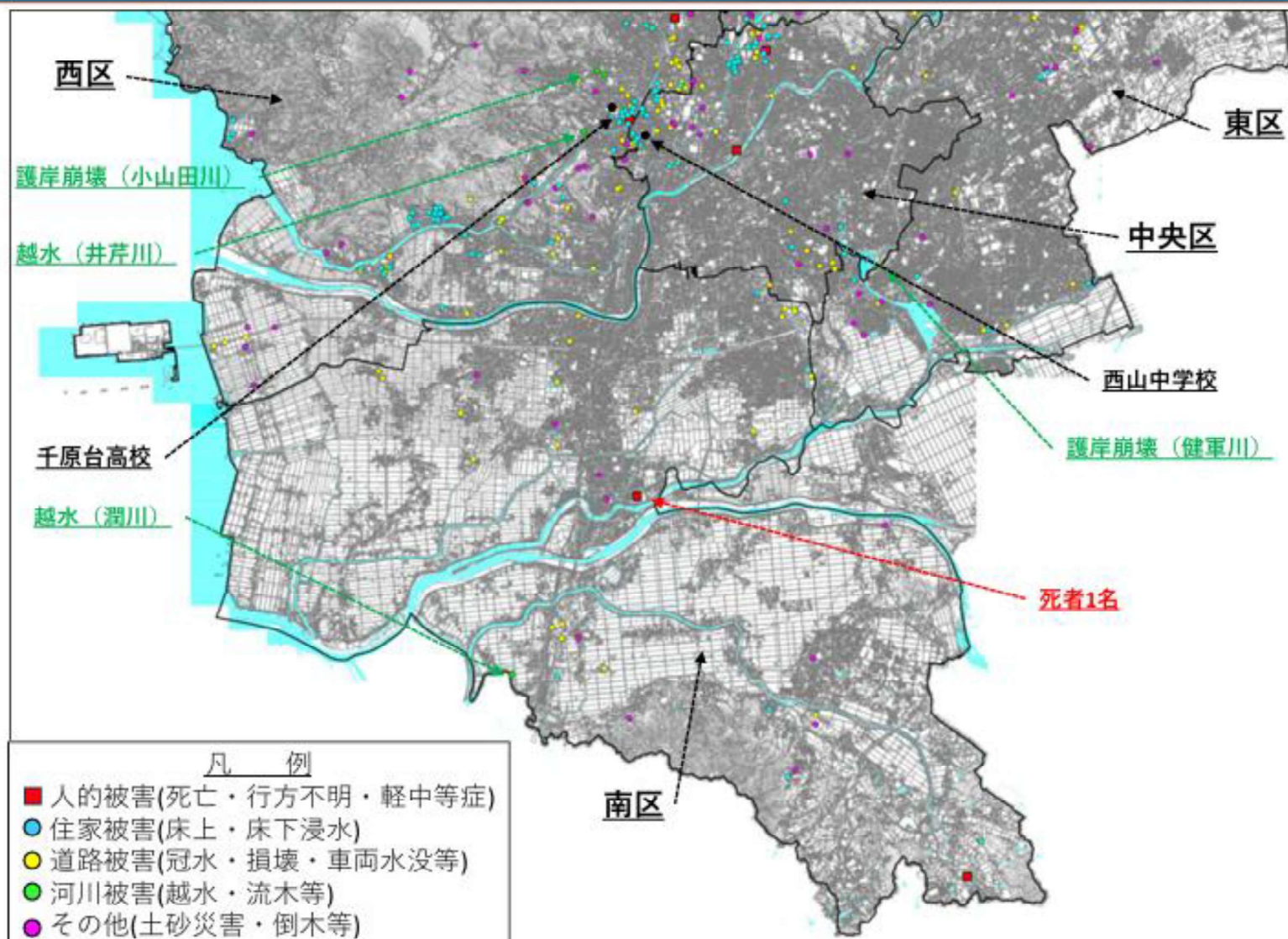


道路冠水

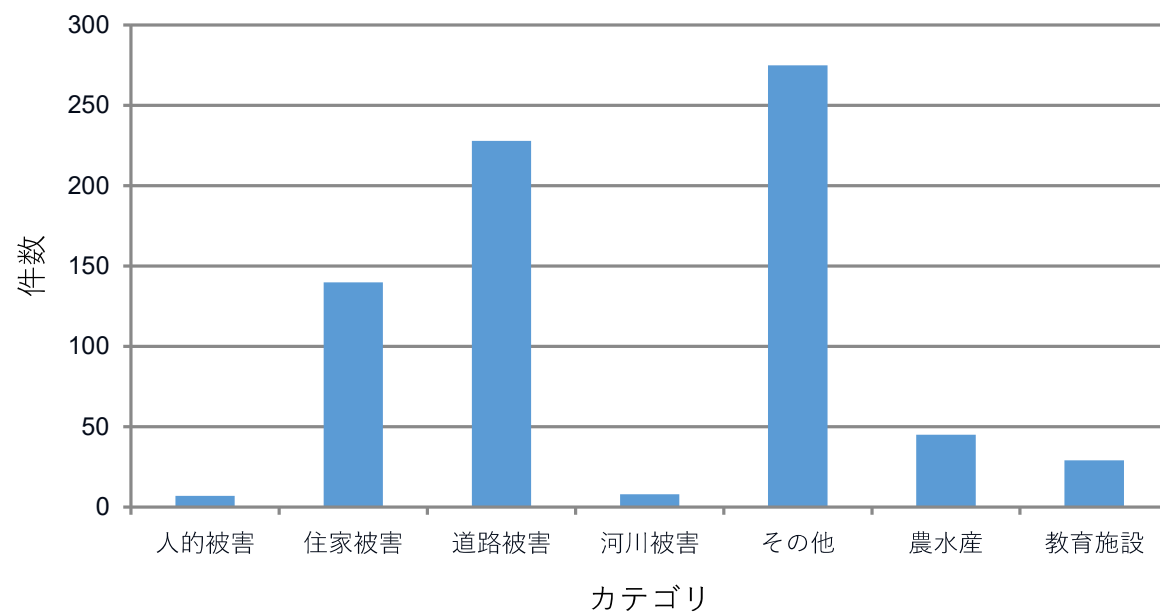


土砂災害

4. ポイントマップ②



被害状況の概要（2025.8.15時点）



- 死者1名・行方不明1名・負傷者5名
- 床上浸水78件・床下浸水62件
- 道路冠水118件・通行止18件・損壊44件
- 土砂災害183件・倒木等92件
- 農業・水産45件、教育施設29件

主な支援制度の詳細

災害ボランティア派遣

8/15～8/24の期間、家屋内の片付けや清掃、家具搬出を支援。高齢者のみの世帯や障がい者世帯など、自力で片付けが困難な方が対象です。申込みは市ホームページか専用電話へ。

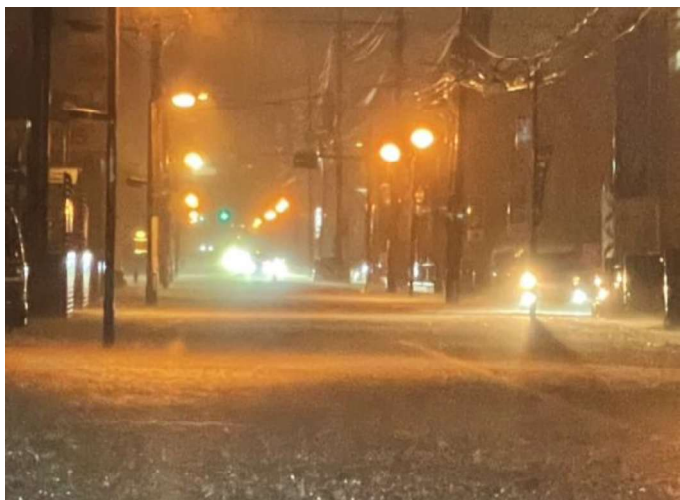
災害見舞金

豪雨で重傷を負った方や住家に一定以上の被害を受けた世帯に対して支給。重傷者3万円、全壊・流出5万円、半壊等3万円、床上浸水1万円。

住宅の応急修理

被災した住宅の最低限住み続けるための部分を市が代わりに修理する制度（対象・手続きは調整中）。修理前の被害状況を写真撮影しておく必要があります。

城西校区の被害状況



島崎本通りの浸水した道路 10日23:50



島崎出張所裏の高い水位 10日23:50

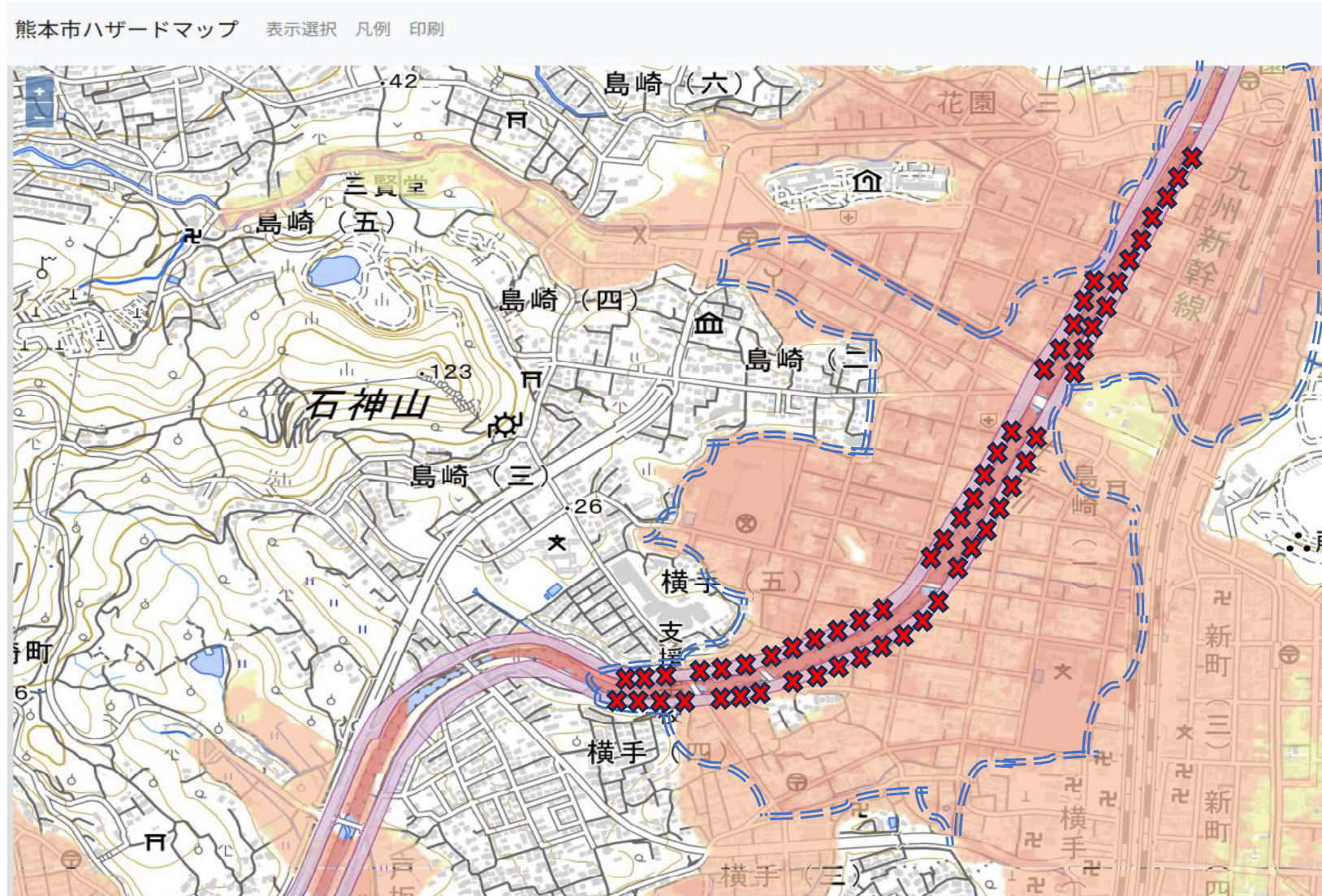


救助活動を行う消防隊（千原台高校） 11日1:30

城西校区では内水氾濫および今回は井芹川越水（氾濫）により道路や住宅街が広く冠水し、消防隊による救助活動が行われました。

城西小学校避難所は氾濫後の開設となり、移動が危険なため垂直避難が呼びかけられました。

令和7年8月豪雨での城西校区浸水域



浸水の様子



四方池橋から 10日23:30



横手カームライフより 11日2:00頃



横手3丁目の冠水した道路 11日4:30

河川の増水や護岸の損壊が見られ、駐車場や幹線道路でも冠水が発生しました。

浸水の様子



横手3丁目（中央区側） 10日23：40



戸坂橋下 10日23：30



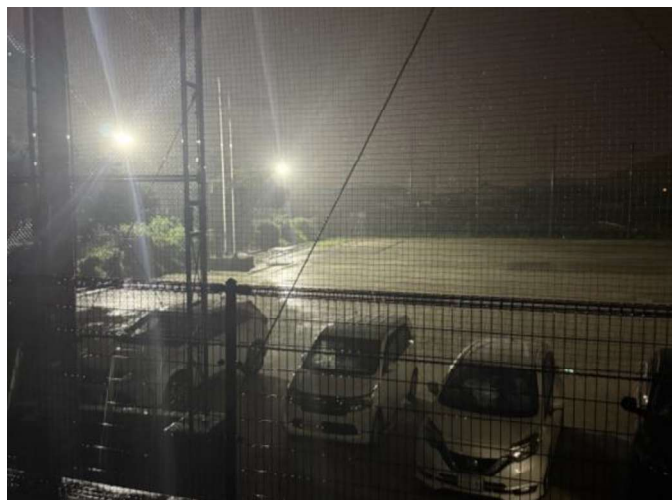
二子堤 10日23：55

河川の増水や護岸の損壊が見られ、駐車場や幹線道路でも冠水が発生しました。

浸水の様子



千原台高校正門前道路 11日1:30



城西小学校駐車場（浸水なし）



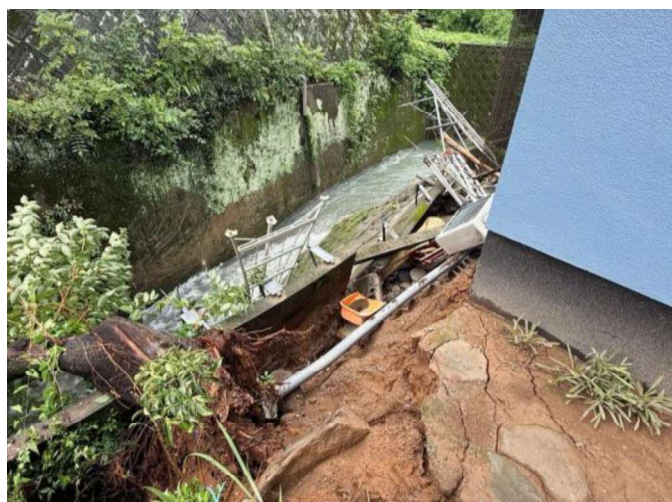
横手5丁目の冠水した道路

河川の増水や護岸の損壊が見られ、駐車場や幹線道路でも冠水が発生しました。

土砂・川泥被害



市街地に堆積した川泥



小山田川沿いの護岸崩落



被災状況報告のスライド

河川の増水により市街地では泥が堆積し、小山田川沿いでは護岸が大きく崩落した。
これらの被害は市の災害対策会議でも報告され、早急な復旧工事の計画がなされました。
市街地の川泥に関しては建築業者によるボランティアでの土砂掻き出し、散水車による水清掃も行われた。

土砂・川泥被害



島崎2丁目建物外壁につく浸水跡



池田2丁目倉庫崩落による被害



戸坂万日山沿い崖大規模崩落

土砂・川泥被害



三段滝（戸坂橋下）



谷尾崎町大谷 民家への土砂流入



百梅園崖崩落

復旧作業と地域の支え



店先に積まれた破損品



貸倉庫での片付け作業



復旧に汗を流す学生ボランティア

浸水により商店や倉庫は大量の破損品を抱え、事業再建のため片付け作業に追われた。
住民や店主、ボランティアが協力し合い、清掃や搬出作業を進めましたが、日に日に身体的疲労と再建できるかという不安での心的疲労が蓄積していった。

復旧作業（災害ごみ撤去）



事業所の水没家具等



事業所の水没不燃物



軽トラへ積載後搬入

浸水地域での事業所から出た災害ごみは一般のゴミステーションへ出すことが出来ず、扇田環境センター（埋め立てごみ）と西部環境センター（燃えるゴミ）への搬入が必要であった。しかし事業所の車両も水没し使えず自ら搬送を申し出た。8月13日と14日で合計1600kg（1.6トン）のゴミを搬入した。実際に搬送をしたことにより減免申請時や搬入する場合の労力や時間等の課題を発見し、問題を早期に解消できた。

復旧作業（災害ごみ撤去）



8月12日14：00時点での四方池公園災害ごみ山（初期）



8月14日9：00時点での四方池公園災害ごみ山（最大）



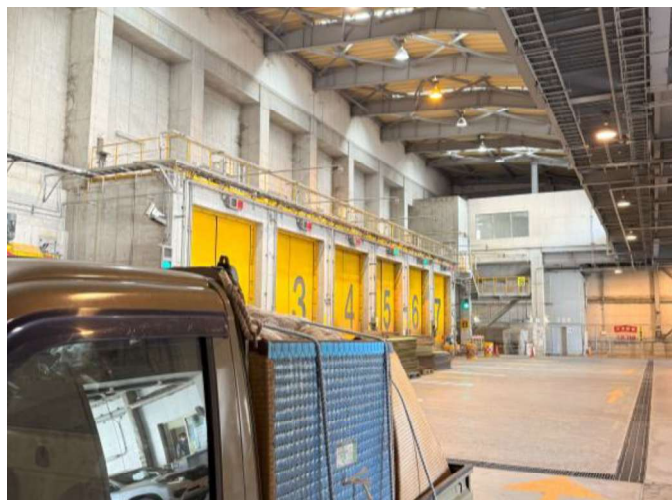
8月16日14：00時点での四方池公園災害ごみ山（一時全撤去）

災害ごみの山も課題となっており、行政による迅速な回収・処理が求めました。ごみ山形成段階で市当局と協議をし、一気に撤去が不可能であり、便乗ごみ搬入多数見受けられたため、一気に片付けの体制が整うまでは待機。今後家電4品目の無料回収が始まる8月18日以降が便乗ごみの問題が再燃する恐れあり。

復旧作業（災害ごみ撤去）



扇田環境センター 減免申請受付



西部環境センター ゴミ搬入待ち



災害ごみ受け入れ施設等

災害ごみ受け入れでは8月13日・14日は入退場まで平均40分程かかった。15日は搬入出まで待ち時間ゼロで5分で入退場できた。お盆も重なり、また発災から5日目とあり疲れもピークの為休まれている方が多かったのではと思った。

復旧作業（災害ごみ撤去）



熊本市による集中的な回収



熊本市による集中的な回収

横手・島崎の浸水地域では災害ごみが多数出ている状況で、市が示したゴミ出しルール（45L透明ゴミ袋等）の余裕がなく、ゴミステーションに持っていくのが精いっぱいだった。廃棄物計画課と協議をし横手・島崎地区での回収をお願いした。またパッカー車の台数を増やすため一般清掃業者にも市からお願いしてもらい迅速な回収をしていただいた。熊本市の迅速な対応に感謝。

復旧作業（災害ごみ撤去）8月16日午後 一時撤去完了



横手4丁目四方池公園



横手5丁目カームライフ横



横手5丁目千原台高校裏手

校区内災害ごみも16日14時段階では通常のごみステーションの状況に戻った。これは熊本市が16日に一斉に災害ごみ対策を浸水地域に重点的に入れた結果である。廃棄物計画課課長と事業ごみ対策課課長との直接の連絡に熊本市は本当に動いてくれた。

倒壊・斜面崩壊とインフラへの影響



倒壊した倉庫が家屋を覆う



島崎百梅園での斜面崩壊



市道通行止め

倒壊した倉庫が家屋を押し潰すなど二次被害も発生し、島崎百梅園では斜面崩壊が報告されています。さらに万日山沿いの道路は土砂崩れで通行止めとなっており、インフラや公共施設にも影響が広がっています。校区内では千原台高校や西山中学校は浸水被害多数。今は閉庁期間であったのが幸いで今後新学期に向けて復旧していく。

避難所開設について



避難所開設段階での打ち合わせ 11日1:00頃



避難所運動場への自動車乗り入れ
防災照明が役に立った

避難所の開設は11日1:00 熊本市からの指示が0時過ぎ。それから横手在住の市職員1名により開設準備。避難所運営委員長・副委員長により開設補助。合計二十数世帯約三十名の避難があった。
西山中学校・千原台高校と避難所が開設できず、消防局や消防団が救助した方が来所され、救急車が3台搬送された。また正門前は消防車両が多数停車しており進入や指揮系統に困難をきたした。

ボランティアセンター開設について

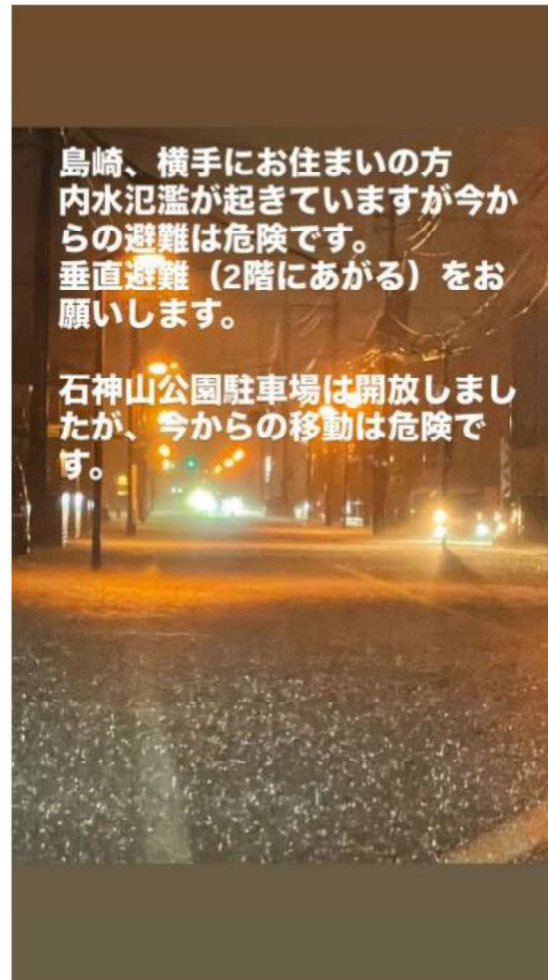


ボランティアセンターが15日には開設（発災から5日目）。ボランティアセンターを花園まちづくりセンターに設置したことにより被災地から近く、迅速な現地到着を実現できた。
発災から5日目となると被災者は疲労困憊となり復旧活動が停滞した。ボランティアの方々は各種災害における復旧のプロであり復旧が一気に進んだ。

〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月11日

- ・大雨浸水が島崎・横手・谷尾崎町・上熊本の被害甚大です。
- ・昨晚、(見回りをした中では)23時30分頃には上熊本・島崎・横手で浸水が始まり、城西小学校の避難所開設と石神山公園駐車場を開放した後には、島崎・横手方面は越水と内水氾濫で行くことができませんでした。
- ・被害が酷い地域は「横手のセブンイレブン周辺」「千原台高校周り」「島崎2丁目ゆめマートから島崎出張所周辺」。
浸水は約1m～1.5m程度。
床上まで浸水しているところがあります。
- ・井芹川は、今朝水が引いた後、横手5丁目・4丁目側も両岸で越水があったようです。
1時00分～4時30分は近づけませんでした。
- ・皆様からは「内水氾濫は今までもあったが井芹川が氾濫したのは記憶がない」と話される方が多く感じました。



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

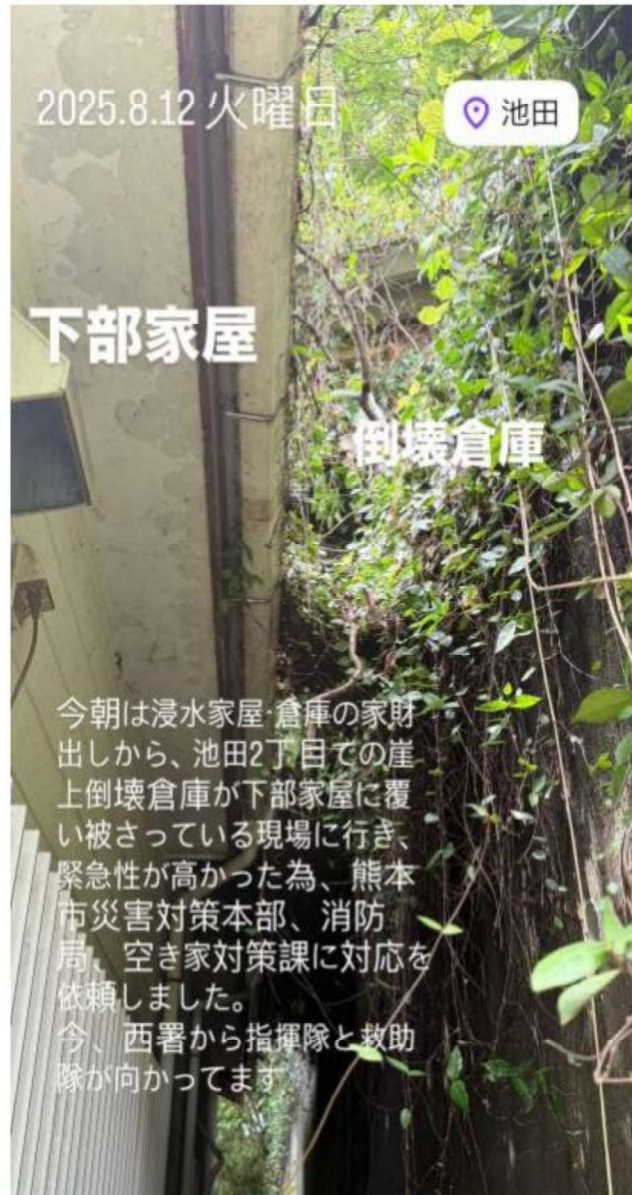
8月11日

- ・千原台高校裏では、レスキューがあり朝方まで城西小前は消防車両が駐車し、通行が難しい状況で、横手5丁目には救急車が入れない状態でした。
- ・各所の車両浸水により、今も数ヶ所で道を塞いでいる状況です。
- ・土砂の掻き出しなど復旧ボランティアが必要なレベルで浸水してしまいました。
- ・小山田川沿いでは護岸が崩落。建物のすぐ横まで崩落していて、今から再崩落を防ぐ応急処置が行われます。
- ・谷尾崎町では西環状道路橋脚横の崖が崩落。市の対応待ちとなります。
- ・その他まだまだ見れていない被害が多くあると思います。
- ・昨晩からの疲労は皆様大変なものがあると思います。
- ・復旧に向けて全力で取り組みます。
- ・予測出来なかったこと早めの周知ができなかったこと申し訳ないです



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月12日



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月13日

- ・8月10日～11日発災の大雨被害について 本日が発災から3日目。
- ・発災翌日に空が白み始めてからの課題が出てます。
- ・しかしながら西区から少し離れば世の中はお盆休みに入って日常があります。
- ・休み自体は世の中の経済を回し、被災地域への支援に回るためには必要でありますので全然否定することはありませんが、被災地の現状をお知らせして忘れてもらわないように発信していきます。

・発災3日目の課題

- ▼水害の災害ゴミの出し方、ゴミステーションのゴミの山
- ▼川泥のほこりや飛び跳ねによる空気の汚れ
- ▼感染危険
- ▼災害事業所ゴミの搬出持ち込みの煩雑さ
- ▼事業所トラック水没による搬出不能
- ▼土砂崩れ
- ▼民地間境界における被害対応の困難さ
- ▼罹災証明の事業所対応の周知及び煩雑手続き



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

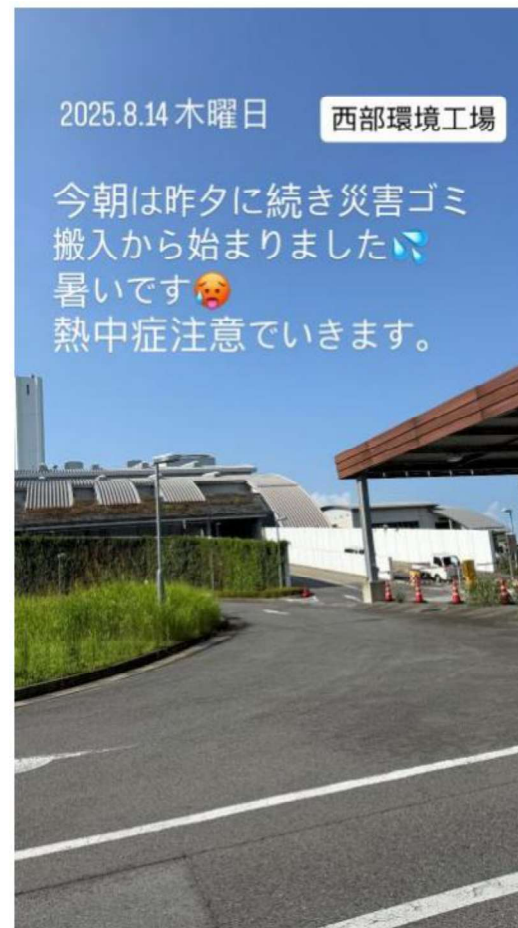
8月14日 ～発災4日目の気付きや課題～

〈ゴミ集積について〉

- ・夕方から夜半にかけてゴミ山が急激に大きくなる。災害復旧活動は日中に行われることから、災害地域外からの「便乗ゴミ」の持ち込みの可能性が考えられる。

〈災害ゴミについて〉

- ・災害ゴミ処理の減免申請は、1度の持ち込みで処理できない可能性がある場合には、減免承認書を複数枚もらっておいた方が良い(その都度、申請が必要)。
- ・燃えるごみ搬入が朝一から混雑。
減免申請をしない車両がレーンへ入ってしまうためか。工場入口では、「受付はこちら」と表示をしているが難しい。
- ・燃えるごみ西部環境工場は昼過ぎで入場から出場まで40分～50分。
夕方16時30分で15台待ち。
- ・家電4品目の引き取りについて、熊本市が臨時的に回収できるようにしてもらったのはすごく助かった。
- ・被災事業所は少しでも復旧費用を抑えないと営業再開ができない。



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月14日 ～発災4日目の気付きや課題～

〈事業再開、復旧について〉

- ・福祉施設や工場、小売店など建設・設備・卸・営業等様々な業者さんが被災地入りし、スピード復旧してくれている。ゴミを片付ける傍らで設備工事等が開始。
4日目でのこの早さの凄さ、またお盆期間にも関わらず休み返上で事業再開に動いてくれていることに感謝でいっぱい。
- ・設備復旧に対する今後の行政からの支援等情報など少しでも分り希望を持たないと次に進む勇気が持てない。
- ・浸水家屋での床下泥掻き出しの後の消毒などの支援を令和2年7月豪雨災害時の対応の様にしていかなければならない。

【2日間での持ち込み災害ゴミ】

扇田環境センター

・燃えないごみ、埋立ごみ 0.37t

西部環境工場

・燃えるごみ 1.23t

合計 1.6t

※通常受入料金

10kgあたり150円換算

24,000円 減免

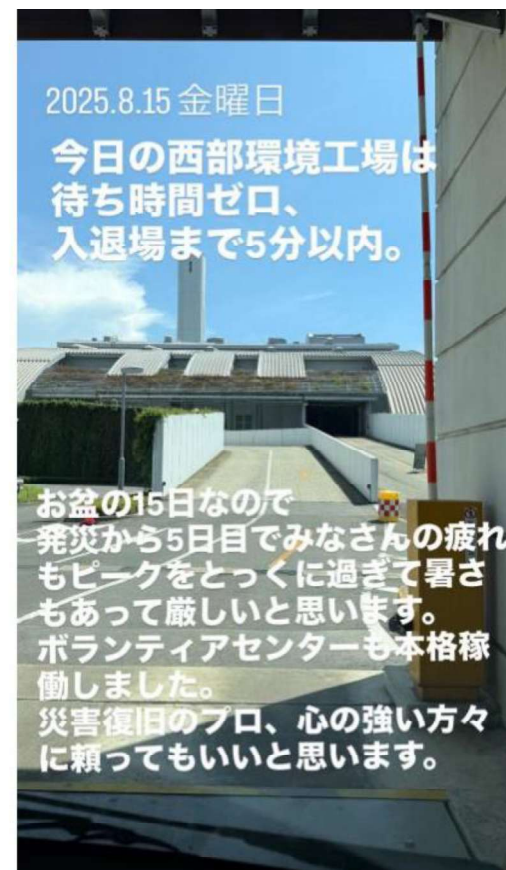


〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8/15

(災害ゴミ関連)

- ・西部環境工場は待ち時間ゼロ、入退場5分以内。
- ・8/15でもあり、5日目の疲れもピーク、皆さん限界。横手、島崎と一気に熊本市の清掃が入りパッカー車で災害ゴミを回収。ゴミ山回収が 終わり綺麗になった場所にこれからは置かない様に。従来のゴミステーションに出してもらう事で回収がスムーズになる。
- ・月曜日から家電4品目の回収がはじまる。便乗投棄やゴミゼロコール回線パンクなど課題が生じる恐れあり。



〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月16日

nozomi.matsu24

2025.8.14 木曜日 西部環境工場

今朝は昨夕に続き災害ゴミ搬入から始まりまして、暑いですが熱中症注意でいきます。



@hajimekumamoto

災害発生前から身を粉にして動いて下さってます。島崎、横手、谷尾崎、北川さんが居てよかった！

我が町がこんなになるとは思わず、またこんなにしてしまった責任もあり。しかし私は皆さんの尽力と姿に接してこの町の議員でよかったと思う日々です。

2025.8.15更新 台数限定 事前予約制

くるま、無料でお貸しします 災害サポート・レンタカー

予約受付を開始！ 日常生活に 片付け・引越に

今回の大雨でご自身の車が動かなくなってしまったり、片付けに軽トラックなどが必要な方に急場をしのいでいただけるように、寄付いただいた車を無料でお貸します。

令和7年12月25日まで無料貸出し 無料代は自己負担、満タンでご返却ください。

期間 令和7年12月25日まで無料貸出し
・軽乗用車、普通車・・・長期で利用可能(1か月毎の更新)
・軽トラック、軽バン・・・最長3日間(期間中何度でも利用可)

場所 熊本市西区役所 旧館(熊本市西区小島2丁目7-1) ※拠点に直接お話し合いいただいてもお貸し出しがなしますので、必ず事前にご予約ください。

10:00～16:00(定休日:水曜日)

災害サポート・レンタカーについて
令和7年8月の熊本豪雨で被災された方・支援活動を行う団体を対象とする無償のレンタカー支援です。
※貸し出しまでの手順は、申込をしいだいてから申込順での貸出しとなります。申込時点で貸出し台数を超過する場合はご遠慮ください。

貸し出すお車について
使用している車は全て寄付いただいた思いのこもった中古車です。大切に使用してください。
※急場をしのいでいただくために集まった車なので外装の傷やへこみ、メンテナンスが十分にされていない可能性もあります。

貸出しの条件
1. 免許証のご提示(運転する方全員分、申込者以外はコピー等可)
2. 携帯電話の所有(お持ちでない場合はご相談ください)
3. 被災の証明(被災一時貸付申請書、証明書、世帯のわかる写真等)
※被災を証明できるものがない場合はご相談ください。
※75歳以上の方はご家族の同意が必要となります。
※被災した法人・団体の方も申込可能です。
※支援活動を行う団体も申込可能ですが被災者への対応を優先します。申込時に活動実態を証明できる書類などを提出いただきます。(3の条件は不要)
●対象外の方:被災地の車を譲り受ける企業、店舗から運転を止められている方、個人のボランティア(支援団体に所属していない)

ご利用の流れ
①申込:下記お問合せ先からWEBが電話で
②協会からご連絡:準備ができたことをお知らせ
③車を借りに行く:②で決まった日時に車庫
④車を返却する:めいばいご活用ください
⑤車を返却する:ガソリン満タンで返却

自動車保険について
下記の自動車保険がつけられています。但し、補償額を超えたもの免責金額及び保険約款の免責事項に該当する事故は、原則利用者負担となります。
対人:無制限 対物:無制限(免責額15万円)
人身傷害:3,000万円/人(乗車中のみ)
車両:なし
※任意で任意の保険については基本的には任意の日を定め、お申し込みください。但し、任意の保険は任意で、任意で任意の保険は任意の日を定め、お申し込みください。但し、任意の保険は任意の日を定め、お申し込みください。

お問い合わせ先・お申込み
貸出しは事前の申込・予約が必要です 電話 050-5799-4740 協力:熊本市

受付時間 9:30～16:00(水曜 休み)
(本部住所) 宮城県石巻市駅前通り1-5-23

日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association

2025.8.16 土曜日

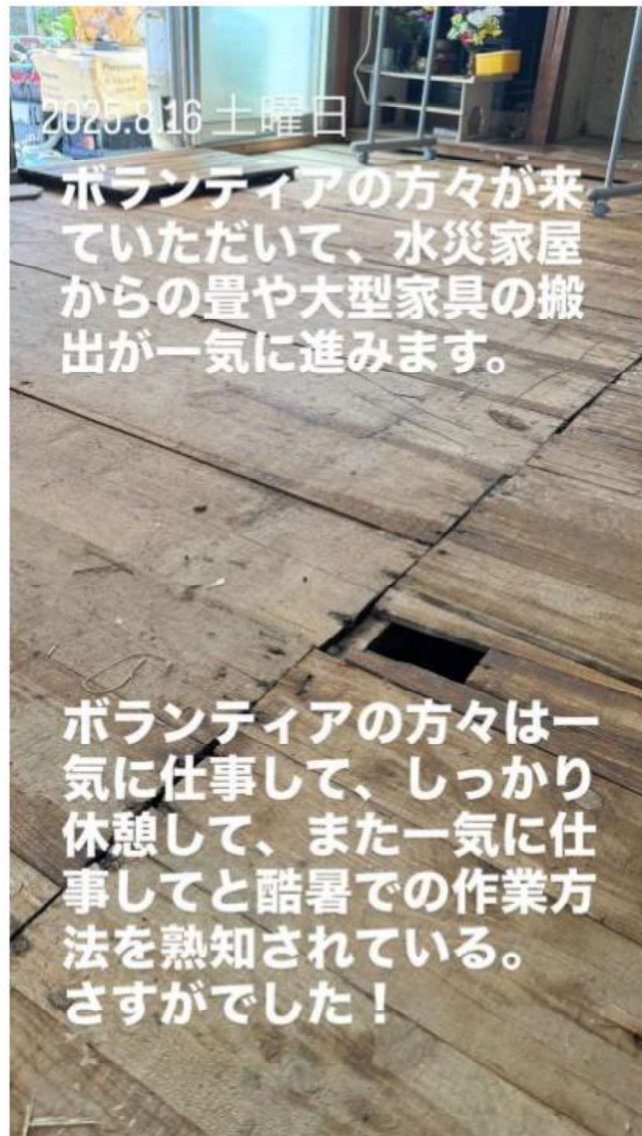
発災から6日目
災害ゴミが綺麗に取られてます。
今日も朝からセンターの方々が何度も来てくれて。




ゴミステーションが通常の形に戻ってます。本当感謝です。
綺麗になると町外からの便乗ゴミがなくなります。

〈参考〉SNSでの発信～被災状況や活動の記録～

8月16日17日



○令和7年8月水害の資料を作成した経緯(制作者の想い)

- 発災から1週間8月18日段階での発災後からの動きをまとめてました。
- 我が町がこのような惨禍に遭うとは思いませんでした。
このことを教訓にしなければならない、後世に伝えなければと思いました。
- 初動に遅れがあり、石神山公園駐車場を開場した0時過ぎには島崎・横手と浸水が始まっており、いつもなら行いう一斉メールでの配信を躊躇した。今発信すれば二次災害を起こしかねないとの判断でした。
- 大変申し訳なく悔しい想いの中でこの記録を作成しました。